

地上波局の ソーシャルTVアライアンス

地上波局を運営する主要10社（Gannett、Hearst、Belo、Scripps、Cox、Media General、Meredith、Post-Newsweek、Raycom、Barrington）が共同で、ConneCTV社のアプリケーションを使ったソーシャルTVのサービスを開始している。このアライアンスには、4大ネットワークが直接保有している放送局は含まれていないが、10社が持つ地上波局は200局以上になり、人口の67%へのリーチがある。これらの会社はConneCTV社に投資をし、そのアプリケーションを使ったソーシャルTVのサービスのコンテンツ、マーケティング、それに広告面で協力をする。

TV音声を使ってチャンネルを認識

すでにNBCは、NBC LiveというソーシャルTVのアプリケーションを提供しているが、これはNBCチャンネルにしか対応をしていない。これに対してConneCTVは、前記の10社の放送チャンネル以外にも対応をしている。ConneCTVのアプリケーションは現在、iPadのアプリ、それにWindowsとMac OS Xのブラウザ向けプラグインとして提供されている。

ConneCTVのアプリケーションは、利用

者が視聴しているTV番組を自動的に認識し、その番組に関連する情報に加え、Facebook、Twitterからのコメントなどを表示する。ConneCTVは画面の左下を広告に使い、収入を得ている。対応するチャンネルは地上波に限らず、多チャンネルサービスも含まれ、60以上のチャンネルに対応している。認識には番組の音声が使われており、放送中の番組だけでなく、録画された番組も認識することができる。

ソーシャルTVのアプリケーションとし

て番組を自動認識することは重要である。チャンネルを替えるたびに利用者に入力をしてもらうことは現実的ではない。Yahoo!のIntoNowも音声で番組を認識する機能を持っている。ConneCTVによると、処理方法に違いがあり、IntoNowのデータには4秒から10秒の遅れがあるのに対して、ConneCTVはリアルタイムで処理をしている。しかし、チャンネルを替えてからConneCTVが新しい番組を認識するまでに15秒程度を必要とするので、結果は同じようなものである。IntoNowもConneCTVもボリュームが低い、あるいは回りの雑音が多いと認識ができない欠点がある。

番組関連のコンテンツを表示

ConneCTVにはIntoNow、Miso、GetGlueなど多くの競合がある。ConneCTVのアプリケーションはまだベータ版であるが、他のアプリケーションと比較して、斬新さはない。ConneCTVの成功の鍵は、番組に関連したコンテンツをどれほど提供できるかである。Facebook、Twitterからの投稿はどのアプリケーションでも提供できることが大事だ。視聴している番組に対する情報、クイズなど、利用者を引き込むコンテンツがなければ、単なるソーシャルネットワークであり、ソーシャルTVではない。

ConneCTVはTV局がサポートしているアプリケーションであり、利用者を番組に引き込むことが目的である。このアライアンスに参加している10社は、TVだけでなく、新聞、雑誌などのメディア市場の大手であり、さまざまなコンテンツを持っている。しかし、このアライアンスには4大ネットワークの1社も加わっていないことが大きな弱みである。

